

ジャンボリーに参加して

福岡 隊黒田藩 高着俊輔

今回のジャンボリーは僕にとって初めての
一週間キャンプだった。そのため、最初はワ
クワク半分不安半分の状態だった。

そのため、僕はこのキャンプのために様々
な準備をした。装備、技能、体力、そしてキ
ャンプを楽しむんだという気持ちの4つだ。
僕はこの4つと仲間が揃えば成功することを
知っていたので、自然と不安は消えた。

ジャンボリーの思い出の中で一番心に残っ
ているのは、アリーナであった3回の集会と
友情ゲームだ。集会で盛り上がった時は1万
2千人が一つになれた気がしたし、友情ゲー
ムではスカウトはみな友達、仲間であるとい
うことが実感できたからだ。

最後に、このジャンボリーに参加して良か
った事は自分の技能を試せた事と新しい友達
ができた事だ。この経験を糧にしてこれから
も精進していきたい。

ジャンホリー感想

三宅 佑太朗

今回、初めてのジャンホリーを経験して、色んな国や地域の人と交流することができました。

会場に着くと、一面にテントが張られていて全てスカウトの張った物なんだと思うとボーイスカウト運動の規模の大きさも改めて実感しました。

会場での活動中、道を歩くスカウトに声をかけると、ハイタッチしたりハグしたり、フレンドリーに接してくれて、ジャンホリーの一体感を感じることができました。

海も空も星もとてもきれいで、一生の思い出になるジャンホリーでした。

WNSJを終えて

福岡十二隊

黒田班

山下

ひなた

私はWNSJが自分が参加する初めこの
ジャニボリでした。だから、楽しみな気持
ちが大きい反面、不安な気持ちもありました。
しかし、この不安は一瞬でなくなりました。
通リすがる人々などと挨拶やハイタッチをする、
この雰囲気からとても楽しかったです。
ジャニボリならではの雰囲気でも、たくさん
の人と話し、友達になることができたので
本当に良かったです。ここで出来に仲間と大
切にして、これから活動を一諸にしたり、
情報共有をしたりして、いこうと思います。

来年は世界ジャニボリもあるのですが、今回の
の経験がいかにさせるようにしていきたいと思っ
ます。

「絆」の再認識

六泊七日という約一週間のキャンプは長いようでも短かったです。リフレっしゅ村にソタ日から離れる日まで多少の雨はあったものの、毎日が晴天で、とても気持ちよく過ごせました。

ジャンボリーで一番強く感じたことは、仲間との絆でした。私は閉会式の終わり、過呼吸で倒れ玉ました。しかし私の異変に気付いた隊長と副隊長、スタッフの方のおかげですぐに

落ち付きました。後から聞いた話ですが、スタッフを呼んでくれたのは同じ隊にいたスカウト二人でした。スタッフが慌し物をやっていた中、走ってスタッフが呼ばれに行くとくれたのです。又、閉会式の帰り、何度も声をかけてくれたスカウトもいました。私はこれだけ仲間思いのスカウトに囲まれていると、改めて知るこができました。ジャンボリーに行って良かったと思われました。

「ジャンボリーの感想」

恒松 香穂

初めてのジャンボリーは、とても楽しかった事ばかりであつた、というまに終わってしまった。私は、まだ初級でやれる事を、わかる事を少なく大変だった。わからないう所を、班長などまわりの人に教~~わ~~てもらい、なんとかやることになりましたが、あらためて自分かきま~~る~~る事が何か、しっかりとわかっただけの家では、と練習しようと思いました。ジャンボリーでは、一日、一日かとても楽しく終わってしまうのかさかししく感じました。夜は星がたくさん見ることができ、初めての流丸星も見ることができました。大集合では前の方の列で、まづかいてい3人をダンスやパフォーマンスがみられて、ジャンボリーのなかで一番思い出に残っています。交流会では、みんながゲームをしたりしてとても楽しかったです。さらに、お友達をたくさんきこうれました。19th N S Jは、帰りのバスまでですが、とてもとても楽しかったです。4年後に東京にある日本ジャンボリーや世界ジャンボリーにも、いつか行ってみたいです。

No. 17 N S J の感想

高着 博崇

ぼくは17 N S J が初めての長期キャンプでした。始まる前まではもちろん楽しみにしていらる気持ちの方が強か。たですが不安な気持ちもありました。しかし、いざ始まってみると人数はたくさんいて、とても広い会場です。とても楽しむことができました。いつも生活している福岡より気温や湿度が低か。たので快適にすごすことができました。このキャンプでは普段のキャンプではない、大きな集会や交流会がありました。集会は前の N S J で見学してとても楽しめうだと思。ていて、最初から最後まで参加したいと思。ていきました。一万人の仲間たちとい。しよに盛り上げて歌。たりしてとても楽しか。たです。ぼくは今回次長として班員の何人かにアドバイザーをすることしかできせんでした。こんどは班を盛り上げたりして、も。と班の役に立ちたいと思。います。

No. 17 N S J の感想

ぼくは17 N S J が初めての長期キャンプでした。始まる前まではもちろん楽しみにしていらる気持ちの方が強か。たですが不安な気持ちもありました。しかし、いざ始まってみるととても広い会場です。とても楽しむことができました。いつも生活している福岡より気温や湿度が低か。たので快適にすごすことができました。このキャンプでは普段のキャンプではない、大きな集会や交流会がありました。集会は前の N S J で見学してとても楽しめうだと思。ていて、最初から最後まで参加したいと思。ていきました。一万人の仲間たちとい。しよに盛り上げて歌。たりしてとても楽しか。たです。ぼくは今回次長として班員の何人かにアドバイザーをすることしかできせんでした。こんどは班を盛り上げたりして、も。と班の役に立ちたいと思。います。

ジャパンポリトを終えて

松田 薫実

今回のE-ZSJで、私は多くのことを学ぶことができました。他県のスカウトとの交流や、外国のスカウトと共に行ったプログラムなど、初めての経験もたくさんありました。想像していたよりも人が多くて、他の地域の文化や活動などを知る良い機会でした。私は、外国のスカウトとコミュニケーションをとることに挑戦しました。私のつたない英語でも、笑顔で応えてくれて、とても嬉しかったです。

このジャパンポリトで、スカウトのやさしさや、たくさんさんの人の力で私達が活動することができているというのを感じました。このジャパンポリトで得た経験をこれからのスカウト活動にも活かしていきたいです。

田上巧真

日本ジャンボリーに参加して、たくさんの出会いを経験した。開会式のために、日本の全都道府県と外国のスカウト紹介があった。こんなにたくさんの国のスカウトのなかに僕たちがいて、いろいろな人と仲良くなりたいと思った。7日にあった友情ゲームでは、7人組みになって、自己紹介のやりとりをして僕は12隊のなかでも2位で戻ってこられたのが嬉しかった。

班でも力を合わせて、班旗たてやゴルフ、手旗で通信などをした。ゴルフは初めてしたけどやってみると、とても楽しかった。広い海岸沿いを歩いて、バディと安全を確認しながら海水浴も楽しんだ。とっても暑い7日間だった。腕時計のあとがくっきり日焼けしていた。日本ジャンボリーでの経験をいかして、これからの僕の目標に向かって努力していきたい。

田上晴也

僕は、水をくんだり、運んだり、食事の配膳を頑張りました。お料理を順番に並べて、きれいに盛り付けができたときはうれしかったです。海鮮パエリアのメニューが一番のお気に入りです。プログラムでは、初めてのゴルフが楽しかったです。班の仲間と協力してファインプレーができました。菊結びと叶え結びも上手に結ぶことができました。埼玉県と愛知県のスカウトたちとも交流しました。僕は交換でチーフリングなどをもらい、それらを大切にしています。初めてのジャンボリーで、ホームシックになり、普段のキャンプと違うところが多かったので、難しかったです。でも7日間乗り切ることができました。この経験を大切にして、これからも活動頑張ろうと思います。

私の日本スカウトジャンボリー

私は生まれて初めての17NSJに参加しました。一年前から色々な訓練に挑戦してきました。準備もいつものキャンプの様な荷物ではなく、「ダッフルバック」という初めて聞くバックに活動着やお風呂セット、洗剤など沢山の荷物を入れて肩が外れそうなくらい重みを感じて「やっぱりいつもと違うな？」と改めて思いました。家でも毎日「早くジャンボリーの日にならないかな？」とワクワクしていました。前の日の夜、胸がドッキドキであまり眠れませんでした。ジャンボリー当日、朝ソワソワしながら起き、集合時間まで時間がたくさんあったので、もうちょっと家族と居たいなあ、と思いながらお昼になると急に緊張のせいでお腹が痛くなったのです！ソファで横になっても治らず、母に薬をタバタしていると、アッと言う間に出発、寂しかったけど、一生懸命お母さんに手を振りました。

バスが発車して、山口県、広島県、岡山県…と行った事のない県に沢山行けて嬉しかったです。石川県に着くまで約18時間かかりましたが、写真を撮ったり、好きな事が出来て充実した時間を過ごす事が出来ました。いよいよ石川県に到着、「これから本格的な活動が始まるんだ！！」と胸が弾みました。その日の夜は、17NSJ開会式があり、岡山県出身の日本スカウトジャンボリーを歌ったUNBRANFORDライブあったり、TV局の人たちが沢山でとても興奮しました。大集会、閉会式では皇太子様や宇宙飛行士の野口さんにお会いする事が出来、一生の楽しい思い出になりました。日本一プログラムでも見事、班旗立てで全国3位になり、とっても嬉しかったです！

あっという間の8泊10日でした。この経験を忘れずに、これからのスカウト活動、学校生活に役立てていこうと思います。支援してくださった方々、ありがとうございました。今回17NSJに行けたことを母に感謝して、4年後の東京である18NSJにも必ず参加したいです。17NSJ、本当に本当にとっても楽しかったです！最高の思い出になりました。

2018.08.28 ツバメ班 阿部 楓

十七NSSJの感想

高着 峻平

この17NSSJは人生初の楽しいキャンピングで
 した。日本全国の人と関わり、いろいろなア
 ロゲームをしました。ほくほくまだ初級で、大
 会の競技で役に立てられがなやんでいました。
 そこに班長が、
 「タイムキーパーを頼む」といわれたので、
 うれしがったです。そして班旗立ての本番が
 きて、ドキドキしていましたが、でも、班でた

くさん練習したのでおれる気持ちがありました。
 た。そして結果は、3位になりました。ぼくの胸は、
 飛び出そうでした。こんなに班で喜んだのは、
 その日が始めてでした。
 場外アロゲームでは、バスに乗り、
 「輪島ぬり」を体験しました。ヤシのような
 もので、はしを消す金粉をつけました。それを
 を母にプレゼントしました。海も最高で、昔
 からの塩作りも体験しました。海水は、とて
 も重くて熱い。人な仕事だと、よくわかりま

した。楽しんでたところ、サイトに戻り、
はんを食いました。おいしかったです。

17 NSJ が終り、帰った時は、

7 次は、東京で開催される NSJ 百周年に

行く。と、決意しました。これから努力し

てがんばっていきます。そして保護者の

みなさまにも感謝したいと思います。

今回、僕が 17nsj で思った事が二つあります。一つ目はジャンボリーの規模です。僕は小学一年生の時に山口日本ジャンボリーの見学に行きました。その時はまだ、ジャンボリーについてあまり知らなくて行ったのですが、来てみて人の多さにびっくりしました。そして、いろんな国の人に来ており、「こんな楽しい行事があるんだ」と思いました。それで、「ボーイスカウトになったらいけるよー」と指導者の方から聞いて、とても楽しみにになりました。そしてとうとう、今年の夏に日本スカウトジャンボリーに行くことができました。世界ジャンボリーではなかったけど、めちゃくちゃ楽しくて帰りたくないくらいでした。「日本ジャンボリーだから、人数とかは少ないんだろうなー」とか思っていたのですが、実際はとても多かったし、すごくフレンドリーな人達だったので、安心しました。(どんな人達がいるんだろう…とか心配してたんで)それに、プログラムにも驚きでした。ショップや交流会、モジュールプログラム、エキスカーションプログラム、スカウト大交流会などぜんぶ楽しかったです。

二つ目は他のスカウトの人達の事です。他のスカウトの人達は、さっきも言ったように、とてもフレンドリーで通り道などで会った時にもハイタッチをしたり、フリーハグなどをしました。交流会でも、皆で歌ったり、ワッペンを交換したりできて、とても良い思い出になりました。友達もできましたよ！

四年後は 100 周年記念日本ジャンボリーなどもあって、凄く楽しみになってきましたね。

四年後のジャンボリーには絶対に行きたいです！

以上です。 BS4 隊 ツバメ班 三宅 遼
(文字少なくてすいません！)

17NSJでの感想

島袋 敬

私は17NSJでとある目標を持っていた。それは、班旗たてで日本一をとる事だった。この班旗たてでは、17NSJの訓練キャンプです。と練習場をしてきた。最初の練習では、まったく高くなくてゆれたりもしていたがだんだんと練習を重ねていくと安定するようになり高くなるようになった。

そして17NSJ本番。すごく晴れていてあせむだらだらかきながらロープでむすんだ事がきおくに残っている。最後までいつもどおりにじんちようにできていたのだが一本だけ竹が割れていたせいでまがってしまい記録測定の時最大の記録が出ずにあきらめていた。しかし活動が終わった後副長に順位を聞くところだったのですごくうれしかった。